

2025年7月3日

## 家庭の食品ロス削減へ、冷蔵庫 AI カメラの実証実験が環境省モデル事業に採択



パナソニック株式会社 暮らしアプライアンス社(以下、パナソニック)が推進する、AI 技術搭載の冷蔵庫を活用した家庭系食品ロス削減の効果検証が、環境省の「令和 6 年度補正予算 消費者の行動変容等による家庭系食品ロスの削減推進モデル事業」に採択されました。

家庭系食品ロスは、直接廃棄が全体の 43%を占めています。<sup>※1</sup>また、食品ロスの原因として、「消費・賞味期限内にたべられなかった」「購入後、冷蔵庫や保管場所に入れたまま存在を忘れてしまった」などが挙げられています。<sup>※2</sup>

これらの課題解決に向けて、パナソニックは AI カメラを搭載した冷蔵庫の販売、および一部のパナソニック冷蔵庫に設置できる、冷蔵庫 AI カメラ単品の販売・定額利用サービスの提供をしています。<sup>※3</sup>冷蔵庫のドアを開けた際に AI カメラが庫内を撮影し、食材を高精度に検出。野菜室の撮影画像からは AI が野菜の種類を自動認識し、スマートフォンアプリに登録した食材の入庫日の記録と連動して、早く食べたほうがよい順にリスト化し、おすすめのレシピを提案します。

本事業では、一般家庭での実証実験として、冷蔵庫 AI カメラの使用有無による食品管理の改善や、食品ロスに対する行動や意識変化の違い、また IoT 技術で冷蔵庫の利用状況ログなど定量・定性それぞれのデータを収集。冷蔵庫 AI カメラなどの機能が、食品ロス削減に向けた行動変容をどれだけ促進するかを検証します。

パナソニックは、本事業において得られた食品ロス削減に対する定量・定性それぞれの効果に基づき、家電を通じたより効果的な施策を検討・展開し、家庭系食品ロス削減の持続的な解決に貢献していきます。

※1 環境省:我が国の食品ロスの発生量の推計値(令和5年度)の公表について  
別添:我が国の食品ロスの発生量の推移等

[https://www.env.go.jp/press/press\\_00002.html](https://www.env.go.jp/press/press_00002.html)

※2 農林水産省:食育に関する意識調査報告書(令和3年3月)

[https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/13271042/www.maff.go.jp/j/syokuiku/ishiki/r03/pdf\\_index.html](https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/13271042/www.maff.go.jp/j/syokuiku/ishiki/r03/pdf_index.html)

※3 冷蔵庫 AI カメラ

<https://panasonic.jp/reizo/feature/camera.html>

<パナソニック株式会社 暮らしアプライアンス社とは>

パナソニック株式会社 暮らしアプライアンス社は、家電の開発・製造・リサイクルを中心に事業を展開しています。100年育んできた暮らしに寄りそう力で、人と地球の未来に続く、感動の商品とサービスを創造することを目指しています。

<https://www.panasonic.com/jp/company/living-appliances.html>

<報道機関からのお問合せ先>

パナソニック株式会社 暮らしアプライアンス社

経営企画センター 経営政策部 広報課:[las-pr@gg.jp.panasonic.com](mailto:las-pr@gg.jp.panasonic.com)

以上